

次号予告

2017年10月号

特集

患者状態適応型パスの 訪問看護への導入

本特集では、ケアプロセスの見える化に向け、本誌8月号で一部ご紹介した患者状態適応型パス(PCAPS)の概説と、それを用いて作成した訪問看護の臨床プロセスチャートの実際を中心に紹介します。

訪問看護の利用者のほとんどは、複数の疾患や合併症をもち、住環境や家族関係といった療養環境の個性が大きいため、臨床プロセスチャートは、疾患ごとではなく、「退院直後」「がん末期」などの状況に応じて作成します。同時に、訪問看護に係る制度や医療保険、介護保険などにも対応させ、実用的なものになっています。

経験を問わず、質を維持向上させながら、職種を越えて共通の方向性をもって利用者に関わっていくための試みに迫ります。

患者状態適応型パス(PCAPS)を用いた訪問看護の臨床プロセスチャートで、訪問看護のPDCAをいかに回すか●水流聡子

【事例①】退院直後の訪問看護●山崎潤子

【事例②】COPD急性増悪の訪問看護●山路聡子

【事例③】ターミナルの訪問看護●佐野けさ美

看護基礎教育における訪問看護教育への導入の可能性と期待●棚橋さつき

巻頭

ナースの悩みで「認知行動療法」を体験!(仮)

※一部変更となることがあります。

訪問看護と介護 第22巻 第9号(通巻255号) 2017年9月15日発行(毎月1回15日発行)

発行:株式会社医学書院 代表者:金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2017, Printed in Japan

1部定価:本体1,400円+税 年間購読料(税抜,送料弊社負担,年間12冊):12,600円(冊子版)/15,600円(冊子+電子版/個人)/12,600円(電子版/個人)

販売部:☎03-3817-5659 社内案内:☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室:☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当:小池・栗原・横田・早田

✉ houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写,スキャン,デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学,病院,診療所,企業などにおいて,業務上使用する目的(診療,研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは,その使用範囲が内部的であっても,私的使用には該当せず,違法です。また私的使用に該当する場合であっても,代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

【JCOPY】(出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は,そのつど事前に出版者著作権管理機構

(☎03-3513-6969, FAX03-3513-6979, ✉ info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

※「訪問看護と介護」は,株式会社医学書院の登録商標です。

編集後記

およそ1年間の産育休をいただき、編集室に戻ってまいりました。初めてのお産は想像を超えることばかり、育児も戸惑うことばかりですが、なんとか親として1歳を迎えられそうです。おぼつかない足取りながら、娘とともに育っていききたいと思っています。よろしく願いいたします。子どもの成長を感じる瞬間は多々ありますが、なかでも大きな変化があったのが離乳食を始めたときでした。母乳やミルク以外のものを口から食べる、しかも咀嚼して食べるということで、顔つきが変わって、意思のありが感じられるようになったのです。「食べる」ということは人間の本質に関わっている……もしくは、食いしん坊が遺伝したのでしょうか?…栗原

人生最期の食事には何を食べたか。そんな話を一度はしたことがあるのでは。老衰で亡くなった義理の祖母は、最期まで口から食べることができていたのだそう。好物だったのが、中トロとうなぎの蒲焼き。それらを望み、ひと口ずつ食べ、翌日に亡くなった……のだとか。すごい。そんな「食」のエピソードには、経過を詳らかに知らずとも、ご本人にとって、またその周囲の人々にとっても充実したものだった様子がにじんでいます。さて、最初の問い。自分だったらと考えてみているのですが、最期と思うと決めきれず。うーん。…小池